

連合運動の重要な柱「政策・制度」について討議 「労働政策セミナー・政策討論集会」開催



「労働政策セミナー」(講師/野田前内閣総理大臣)



7月5日(土)、県民ふれあい会館(鳥取市)に組合員と推薦議員229人(内、女性23人、参画率10.04%)が集い、前内閣総理大臣・野田佳彦衆議院議員を講師に迎えた「労働政策セミナー」と「2015連合鳥取政策・制度要求(素案)」について討議する「政策討論集会」を開催しました。

【会長あいさつ】
主催者を代表して五十嵐美知義会長は「『政策・制度要求』については、しっかりとみなさんに議論していただいて連合鳥取としてとりまとめを行っていききたい。」

また、集団的自衛権の解釈変更による閣議決定は、民主主義に対する暴挙であり遺憾であるとともに、『憲法問題』についてはいろいろと意見があるが、オープンな形で議論していくことが重要と考える。現憲法を解釈で変えることは、立憲主義に反し認められない。

野田前総理大臣には「安倍政権が危険な方向に行く歯止めを民主党がしなければならぬ」ということも含めて、政権を担っていた当時の状況をお話していただきたい。最後までよろしくお願ひしたい。」とあいさつしました。

【労働政策セミナー】
講演テーマ
野田政権482日を振り返って
野田前総理大臣は、集団的自衛権行使容認の閣議決定について、「憲法にかかわる問題であり、国会で十分に審議し丁寧な議論するのが筋である。」

と述べました。
また、日米防衛協力のガイドラインの協議・PKO法などの個別の法改正についても「この秋から予定しているが、国会審議はいつやるつもりなのか。国民の多様な意見を聴いて丁寧かつ慎重な議論をすべきであり、民主党政権当時は『社会保障と税の一体改革』について通常国会会期中に360時間にわたり審議したものだ」と憲法にかかわる自衛権の問題について審議が十分にされないうまま閣議決定されたことを批判しました。

あわせて、「政権運営にあたって心掛けたことは、問題の先送りをしてはいけないこと。国民の中間層を分厚くする政策が必要で、国民は子育て・老後に不安をもっており、『社会保障と税の一体改革』は重要な課題だった。当時は解散も意識しなければならぬ時期でもあり、『結論を先送りに』という意見もあったが、党内融和より党の代表として政策を優先した。外交問題では、日米関係の修復を第一に考え、オバマ大統領との個人的信頼関係を築いてきた。民主党の役割は、中

道から穏健保守までの声を取り上げることであり、民主党の反転攻勢は地方選挙からである。反転攻勢の機会を作れるように、これから頑張っていきたい。」と訴えました。

【政策討論集会】
はじめに連合の2015年度重点政策7項目について、田中穂事務局長が連合本部作成のリーフレットをもとに要点を絞って説明しました。
その後、「連合鳥取2015年度政策・制度要求(素案)27項目」の作成意図・経過などについて、田中事務局長、前田厚彦執行委員、佐貫馨執行委員から説明しました。
最後に小椋昌美労働政策局長より、「政策制度要求はこれから執行委員会で成案を得たのちに県へ要求することになる。推薦・支持議員団の協力のもと、実現に向けて頑張りたい」と締めくくりました。

【今後の日程】
8月8日
知事へ要求書提出
8月下旬
9月上旬
部局交渉



「政策討論集会」

「連合鳥取2015年度政策・制度要求

—鳥取県への要請事項—」は別紙をご参照ください。

女性委員会「産別交流会」を開催

7月13日(日)、倉吉未来中心にて連合鳥取女性委員会主催の「産別交流会」を開催しました。各産別より31人が参加し、ヘア・メイクアーティストのKeikoさんを講師に迎え、「イキイキ輝くカラーマジック!～見た目の印象は心に残ります～」をテーマにカラーセミナーとグループワークを行いました。



カラーセミナーでは最初に講師の方の自己紹介、今年の流行カラーなどの話があり、その中で、自分に合ったいろんな色にチャレンジして欲しい。そのためには自分のタイプを知ることが大切という事から、隣に座っている者同士でカラー診断にチャレンジしました。自己紹介もしながらはじまったのですが、私を含め自分で思っているタイプと他の人から見たタイプが違う事に驚き盛り上がりました。



そのままの雰囲気ですぐグループワークに移り、ファッションの話から職場での服装、環境、自分の産別での活動の情報交換など、普段は他の産別の人の話を聞ける機会は少ないので貴重な体験となりました。

今回、感じた事、他の産別の活動で参考にしたいことなどを今後の活動に活かしていきたいと思いました。

(写真上)講師/Keikoさん

(寄稿 女性委員会幹事 山本千鶴子さん)

働く女性の一層の活躍に向けて 「輝く女性活躍加速化とっとり会議」が発足

7月10日(木)、とりぎん文化会館に約200人が参加し「輝く女性活躍加速化とっとり会議」発足式が開催され、連合鳥取から五十嵐美知義会長が登壇しました。子育てや男女共同参画に力を入れている鳥取県ですが、より女性が活躍しやすい環境づくりを進めるため、経済界・労働団体、国、県、市町の代表らが発起人となって設立したものです。今後、関係団体が連携を取りながら、環境整備と地域経済の活性化をめざしていきます。



(右)五十嵐会長

★国・鳥取県が行っている各種事業・制度を紹介します★

◇(国)厚生労働省「育児休業給付金」が引き上げられました! [67%(2014年4月～)] ←50%(2014年3月まで)

給付割合の引き上げは、休業開始から180日間ですが、夫婦ともに取得すれば1年間割増給付を受給できます

※問合せ先/鳥取労働局職業安定部職業安定課 TEL/0857-29-1707

◇(国)厚生労働省「ポジティブ・アクション情報ポータルサイト」※WEBで検索

女性の活躍推進に取り組んでいる企業情報や実例を規模・業種ごとに検索できます

※問合せ先/鳥取労働局雇用均等室 TEL/0857-29-1709

◇(国)厚生労働省「ポジティブ・アクション能力アップ助成金」

女性がスキルアップを図りつつ活躍できるためにポジティブ・アクションに取り組み、数値目標を達成した事業主に対し支給

※問合せ先/鳥取労働局雇用均等室 TEL/0857-29-1709

◇(鳥取県)「鳥取県男女共同参画推進企業認定制度(うれしい職場ささえる制度)」

認定されると県がホームページや冊子等で取り組みを広く紹介し、企業の積極的な姿勢を地域にアピール!

県の指名業者選定における加点給付、入札機会の増加などの優遇措置が受けられる

※問合せ先/県地域振興部男女共同参画推進課 TEL/0857-26-7792

◇(鳥取県)「男性の子育てしやすい企業支援奨励金」(従業員数100人以下の事業主対象)

男性従業員に「育児参加休暇」または「育児休業」を取得させた事業主に対して奨励金を支給

※問合せ先/県庁子育て王国推進局子育て応援課 TEL/0857-26-7148

◇(鳥取県)「職業訓練生託児支援事業奨励金」(2014年8月スタート!)

県内在住の就職希望者の職業訓練(産業人材育成センター)期間中の保育料の半額を支給

※問合せ先/県立産業人材センター 倉吉校 TEL/0858-26-2247 米子校 TEL/0859-24-0372

◇(鳥取県)「レディース仕事ぶらさ」鳥取・倉吉・米子に6月4日オープン!

※問合せ先/県商工労働部雇用人材総室 TEL/0857-26-7225



ご存知ですか? 「連合鳥取第3次男女平等参画推進計画」⑥



連合のゆるキャラ ユニオンマン

☆大山乳業農業協同組合労働組合について紹介

組合員数220人(男性150人・女性70人)

執行部12人中女性役員3人(副委員長1人・執行委員2人) 女性比率25%

☆こんな活動しています!!

- ・定期職場委員会(2ヶ月に1回開催) ・壮年部研修会(2月/県内1泊)
- ・女性ひなまつり座談会(3月)[テーマ/こんな行事がしたい、職場(環境)の問題点、女性の抱える悩みetc.]
- ・新入職員歓迎ソフトボール大会(6月) ・大山まきば草刈奉仕作業(7月)
- ・女性七夕座談会(7月) ・工場周辺の奉仕作業(8月/青年女性中心)
- ・労働組合主催の「家族交流会」(8月)〈昨年は約350人参加〉

6/21の「男女平等参画学習会」で発表された「フード連合・大山乳業農業協同組合労働組合」の活動について紹介するよ。参加しやすい取り組みになるよういろいろ工夫されているね!



七夕座談会の様子

☆悩み事・・・ 参加者をどうしたら増やしていくことができるかが課題

連合鳥取金属部門連絡会「第2回親子ものづくり教室」を開催!

7月27日(日)、連合鳥取金属部門連絡会は昨年に続き第2回となる「親子ものづくり教室」を鳥取職業訓練センター(ポリテクセンター鳥取)の協力のもと、同センターを会場として開催しました。

同連絡会は、ものづくり産業に携わる電機連合・JAM・自動車総連の3産別で構成しており、活動の一つである「親子ものづくり教室」は、日本のものづくり産業の発展に向けて、ものづくり産業の魅力を子供たちに伝え、「ものづくり」の大切さや楽しさを実感してもらうことを目的に開催しています。



今回は、小学生とその保護者61人が参加し、低学年は「望遠鏡」、高学年は「木工時計」を製作しました。

「望遠鏡づくり」では、型紙をカッターで切るなどの難しい工程もありましたが、保護者のみなさんが手助けしながら、親子で仲良く製作していました。

「木工時計づくり」では、初めて使うボール盤に戸惑いながらも、最終工程であるペイントでは、それぞれが個性溢れるデザインで色付けをしていました。

約2時間の教室でしたが、時間が経つのを忘れ、一生懸命製作している姿や自分が製作したものを嬉しそうに手に持つ姿はとても感動的でした。限られた時間ではありましたが、「ものづくり」を介して親子がふれあえる良い場になったのではないかと思います。来年も引き続き、「親子ものづくり教室」を開催したいと思います。



《参加者からのコメント》

お子様(小学校1年生)

“作るのは難しかったけど、かわいい望遠鏡ができてうれしかったです。”

保護者

“普段できない望遠鏡づくりを子供と一緒にできて、とても良い時間を過ごせました。またこの様な機会があれば参加したいと思います。”



(寄稿 連合鳥取金属部門連絡会幹事 河村正之さん)

特集 最低賃金

「地域別最低賃金引き上げ額目安」決定

7月29日(火)、すべての労働者の賃金底上げにつながる今年度の「最低賃金」の目安となる額について、厚生労働相の諮問機関「中央最低賃金審議会・小委員会」が決定しました。小委員会の労働者側委員には連合(本部)役員も参画し、「物価上昇や春闘などでの賃金引上げ」「企業利益の改善」などを求め、大幅な引き上げを訴えましたが、使用者側委員は「中小企業まで業績改善が進んでいない」などと難色を示し、2日間の議論の末決まりました。

※参考「中央最低賃金審議会目安に関する小委員会報告」より抜粋

この目安を参考に、鳥取県においても公益・労働者(連合鳥取)・使用者の委員による審議が始まります。1円でも多くの上乗せをめざし、連合鳥取役員は訴えています。

※参考「中央最低賃金審議会目安に関する小委員会報告」より抜粋

■労働者側の主張内容<要旨>

- ①各ランク区分ともに昨年を上回る目安額となること
 - ②マクロの経済成長が所得向上に反映されること
 - ③組織労働者の賃上げが最低賃金にも反映されること
 - ④生活保護との乖離解消は単年度で行われること
 - ⑤足下の物価上昇について配慮すること
 - ⑥ランク間格差の解消を図ること
 - ⑦最低賃金の適切な水準について議論を深めること が必要。
- 特にC・Dランクの本来あるべき水準を加味した審議を行うべきであり、審議会として最低賃金の適切な水準や、その実現に向けた目安審議のあり方について、議論を深化させるべきである。

	現在の最低賃金(時給)	引上げ目安
A	東京☆(869) 神奈川(868) 大阪(819) 愛知(780) 千葉(777)	19円
B	埼玉(785) 京都(773) 兵庫☆(761) 静岡(749) 三重(737) 広島☆(733) 滋賀(730) 栃木(718) 茨城・長野(713) 富山(712)	15円
C	北海道☆(734) 岐阜(724) 福岡(712) 奈良(710) 群馬(707) 山梨(706) 石川(704) 岡山(703) 新潟・福井・和歌山・山口(701) 宮城☆(696) 香川(686)	14円
D	福島(675) 徳島・愛媛(666) 青森・岩手・秋田・山形・鹿児島(665) 鳥取・島根・高知・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・沖縄(664)	13円
	全国加重平均(764)	16円

※A～Dは経済状況から分けられた「目安ランク」☆は生活保護水準との逆転現象がある都県

長年の献血活動に対し 西部地協に「厚生労働大臣感謝状」が 授与される

連合鳥取は社会貢献の一環として、毎年開催する「メーデー大会」にあわせ、各地域協議会を中心に「メーデー献血」に取り組んでいます。

この度、長年の献血運動への協力に対し、西部地域協議会に「厚生労働大臣感謝状」が贈呈されることとなり、7月30日(水)、鳥取県知事公邸において伝達式が行われ、中島ちから議長が平井伸治鳥取県知事より感謝状を授与されました。



Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

東部地協 / 第41回人権尊重社会を実現する鳥取市民集会

- ◇日時 2014年8月23日(土) 9時45分～15時30分
- ◇内容・場所
 - (午前)全体講演(とりぎん文化会館 梨花ホール)
 - 演題:オール1の落ちこぼれ、教師になる
～いじめ、引きこもり、天涯孤独の絶望を乗り越えて～
 - 講師:宮米越善さん(エッセイスト・元高校教諭)
 - (午後)分科会 7分科会(とりぎん文化会館・鳥取市民会館)
- ◇東部地協は主催の鳥取市人権教育協議会に参画しています。
- ◇問合せ先/東部地協 ☎0857-26-6605
- ◇分科会の内容等については鳥取市HP・市報をご参照ください

中部地協 / 部落解放研究第42回倉吉市集会

- ◇日時 2014年8月24日(日)10時00分～15時30分
- ◇内容・場所
 - (午前)全体会/講演会(倉吉未来中心)
 - 演題:人権問題と「言葉」の重み
 - 講師:落語家 桂 枝女太(しめた)さん
 - (午後)分科会 7分科会(倉吉未来中心・倉吉交流プラザ)
 - ※第6分科会(倉吉未来中心セミナールーム7)/働く人の人権
連合鳥取 田中穂事務局長が発表&問題提起します
テーマ:労働相談事例から(仮)
- ◇中部地協は実行委員会構成団体として参画しています。
- ◇問合せ先/倉吉市役所 人権政策課 ☎0858-22-8130
- ◇分科会内容等については倉吉市HP・市報をご参照ください。

連合鳥取 / 防災学習会

- ◇日時 2014年8月23日(土) 受付10時00分～
10時30分～13時00分
- ◇場所 中部教育会館(倉吉市福庭1丁目167)
- ◇内容
 - ①講演「防災・減災運動の取り組み、防災カフェについて(仮称)」
講師/全労済鳥取県本部専務執行役員 木岡繁男さん
 - ②体験学習 サバイバル・メシタキ【サバメシ】
※空き缶を釜およびコンロにし、牛乳パックを燃料として、簡単に
屋外でご飯を炊く方法を体験
 - ③昼食会(オードブル準備) & まとめ
- ◇お子様の参加も歓迎しますが、必ず事前申し込みが必要です。
- ◇問合せ先/連合鳥取 ☎0857-26-6605



連合鳥取 / 第23回連合鳥取杯親睦ゴルフ大会

- ◇日時 2014年9月20日(土) **※参加者募集中**
受付開始/7時15分～ スタート/8時00分
- ◇場所 旭国際浜村温泉ゴルフ倶楽部
[IN 13組・OUT 12組 計25組] 鳥取市御熊586-1
- ◇費用 プレー費8,000円・参加費3,000円(当日受付で徴収)
- ◇参加申し込み(組合員&OB)
産別・直加盟組織に案内していますので、参加申込書にてお申し込みください。
☆参加申込マッ 8月18日(月)連合鳥取必着
- ◇問合せ先/連合鳥取 ☎0857-26-6605



“ザ・議員”

上田 孝春 鳥取市議会議員

11月の改選にあたり、7期25年の活動を振り返ってみました。
当初から活動の基本理念は「市民本位の市政を実現したい」という考えで、常に現場主義で市民、地域、企業の方々と直接向き合って、現場の声を市政発展に提言したり、時には厳しく議論し、全力で取り組んでまいりました。特に、地域要望には初当選以来25年間、区長会と一緒に、市、県、国の担当課と毎年予算編成時期に直接交渉を設けて、多くの要望が実現でき、地域の活性化が図られたと思います。これも、市民、地域の方々の要望、苦情に真摯に向き合ってきた結果であると思います。また、今日まで議員活動ができたのも連合鳥取のみなさまのご支援のおかげと感謝しております。

しかし、鳥取市にはまだまだ多くの課題が山積しており、厳しい財政状況、低迷する地域経済を考えると、議員としての役割責任も大きく、また、議会の正常化も急務と考えます。これらの課題解決に向けて新たな決意で8期目に挑戦いたします。連合鳥取のみなさまのご支援を引き続きよろしくお願いたします。



地元の子もたち

長坂 則翁 鳥取市議会議員

私は先般、今なお記憶に新しい、3年前に発生した「東日本大震災」の岩手・宮城・福島の前を視察し、震災3年後の現地を「この目で見て」「この耳で聞き」復興の現状をしっかりと受け止め、どう教訓化し、そして今後の鳥取市防災対策にどのように生かしていくのかという視点で多くのことを学んできました。

とりわけ、石巻市大川小学校の教職員や児童の多くが津波により犠牲になったという現実、そして陸前高田市役所は津波により流失(職員の相当数犠牲)したこと、改めて防災拠点としての市庁舎のあり方について考えさせられました。

また、福島市では今なお、放射能汚染で苦しい取り組みがなされている中で、震災前に新庁舎が完成し、震災対応が十分なされたことに感銘を受けたところです。

私たちが被災地のみなさまの思いを共有しながら、できる支援を可能な限り行っていかなければならないことを痛感し、視察を終えました。



“奇跡の一本松”をバックに(陸前高田市)

暑いー暑いー夏、本番となってきた。「暑い」といえば、やはり暑さによる労働環境の悪化が懸念される。毎年鳥取県熱中症で搬送された患者数は、300人以上、職場で発生している。一方、職場では熱中症による死亡事故、熱中症による10年間で1人、鳥取県では10年間で1人、は全国的に20年間で1人、鳥取県では10年間で1人、である。少ないように感じられるが、搬送のように、軽度の熱中症は、至らぬうちに死亡事故の法則のように死亡事故の割合が多くなる。熱中症をなくすためには、この軽度な災害をなくすことが必要なのは言うまでもない。▼先日職場において、死亡事故が発生した。とても残念なことであった。職場の安全は、何よりも最優先するものであり、災害を未然に防ぐための取り組みを確実にするための取り組みを、労働組合として、毎日無事に家に帰れる。これが組合員おとよびの「家族の絆」を大切にしたい。



たんごんごんご